



東京地方本部第九九回拡大地方委員会が二月二〇日、新橋・交通ビルで開催された。稲荷副委員長の開会挨拶・委員会成立宣言の後、議長に神奈川地区本部・富田豊委員、副議長に新橋支部・古沢真一委員を選出し議事に入った。

石上執行委員長挨拶のあと、宮坂全国交運共済東日本事業本部長の来賓挨拶、上部機関からは国労東日本本部高野委員長から挨拶を受けた。松川書記長が経過報告ならびに当面する闘争方針について、鎌田財政部長が協定締結承認について提案を行った。

午後の再開後、募集していた春闘標語の表彰

組織拡大に全力をあげる決意固める 第99回拡大地方委員会

彰、ポスターコンクールの表彰を行った。その後、質疑に入り、東京闘争団・松本団員からの特別発言を含め一三名の発言を受け、宮崎組織部長の答弁、松川書記長の答弁がされた。書記長集約では組織強化拡大・労働条件改善・安全問題・春闘・不採用問題などについて集約がされ、全体の拍手で経過報告及び当面する闘争方針が決定された。

委員会の最後に特別決議「二〇一〇春闘勝利！雇用破壊を許さず貧困と格差の根絶を目指す特別決議」「分会活動強化から組織拡大実現に全力を挙げ多数派実現を目指す特別決議」の二本と委員会宣言を採択し、石上委員長

「普天間基地はいらない
新基地建設を許さない
一・三〇〇全国集会」を
開催！

一月三〇日、沖縄・名護市長選の稲嶺氏の勝利を受けて、普天間基地に反対する全国集会が、日比谷野外音楽堂で開催された。会場には全国から六〇〇〇名が結集し、改めて普天間基地の閉鎖と新基地の建設反対を訴えた。

集会には、福島みずほ大臣や民主党の斉藤議員らも参加した。集会後、常盤橋公園までデモ行進をし、散会した。



春闘標語入選・大宮地区本部・大宮工場支部
佐藤秀実
佳作・上野支部
野佐根浩巳

上野支部
上野支部日暮里駅分會



組合員の購読料は
組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 石上浩一
編集責任者 常盤達雄

No.1720 定価 15円

2010年
3月5日

国労加入を
大胆に訴えよう

第99回拡大地方委員会宣言

地方本部は本日、拡大地方委員会を開催し、委員の真摯な討論により昨年の大会で確立した運動方針の中間総括を行い、次期大会までの当面する闘争方針を確立した。

地方本部はこの間、組織強化・拡大を最重要課題として取り組んできた。各級機関の取り組みにより、若手から年配者まで多くの加入報告が寄せられ、また、加入には至らなくても多くの職場から、様々な取り組みが報告された。組織強化・拡大を実現することによって、不採用事件の解決や労働条件改善等も、大きく前進することにつながる。この流れを確かなものとしていくために、国労の総力をあげた闘いに全機関・全組合員が取り組んでいかなければならない。

職場では「外注化」「機械化・システム化」「子会社化」等あらゆる施策が際限なく行われ、労働条件の劣悪化・人員の削減が続いている。一方、職場では契約社員（GS）の導入が年々拡大している。車両検修部門では、昨年10月「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」が本社提案され、大幅な委託拡大・子会社化がおこなわれようとしている。同様に、「JR貨物会社に於いても下請け化、業務集約化などが進んでいる。こうした中で、労働者の安全を守り、労働条件の改善を目指す私たち国労の取り組みは一層重要になっている。GSの正社員登用試験も昨年本格的に開始されたが、合格基準が不透明との不満の声も寄せられている。現在の日本の雇用情勢を考えれば、この雇用不安を改善してゆくことが大変重要である。

私たちはこれまで安全・仕事総点検運動を職場で取り組み、安全や労働条件に係わる具体的な事実から改善を求めてきた。「職場に労働運動を」「職場の中心に国労が座ろう」の合言葉の通り、全職場からの取り組みを展開していくことが大変重要である。

不採用問題の解決に向けた闘いは「4者・4団体」に全体が一致結束し、政治解決を目指す環境と条件を作りあげてきた。その中で私たちは「JR不採用問題の解決に向けた11・26集会」を民主党・社民党・国民新党・公明党・共産党の各政党による解決への決意をはじめ、多くの仲間の参加により成功させてきた。また「JR不採用問題解決へ！2・16中央集会」を多くの組合員・支援共闘の方々の参加により圧倒的に成功させてきた。

昨年行われた衆議院議員選挙では民主党が第一党となり政権交代が行われた。これを私たちが求める政治解決への絶好の機会ととらえ、各級機関がそれぞれ最大限の取り組みを強め、政府に一日も早い解決を求め、これから大衆闘争や平行して取り組んでいる裁判闘争などを強化しなければならない。私たちは今後も生活と雇用を守り、反戦平和・民主主義、護憲を掲げ、そのためにも2010春闘勝利、7月の参議院選挙勝利に全力を上げることが求められている。

これらすべての課題に勝利するため、国労東京地本に結集するすべての機関・組合員は全力を上げることとする。

以上宣言する。

お知らせ

第21回へら鮎釣り大会

日時 4月26日(月)

場所 椎の木湖

羽生市三田ヶ谷平島

参加費 三三〇〇円

申し込みは各支部
地区本部へ

話そう聞こう 職場の悩み
仲間と築こう 職場の絆

入選 大宮工場支部 佐藤秀実

働く誇りと 職場の信頼
一番もってる 国労が！

佳作 上野支部 野佐根浩巳

八王子地区本部 組織拡大交流会開催

八王子地区本部は、二月一日から二日、都内・青梅で昨年に続き組織拡大交流会を開催した。

国労組織の拡大を目指し、職場での取り組みに生かすために、情勢の現状をつかみ、お互いの経験に学びあう二日間となった。

小山委員長の主催者あいさつに続き、地本松川書記長の情勢報告。新橋支部から新宿駅グリーンスタッフ・加藤君の自己紹介と新橋支部石井書記長から取り組みの報告があった。

続いて一月・二月に三名の国労加入があった武蔵小金井駅連合分会の内堀分会長から「加入にあたって、組合員一人一人が様々な形で動いた事。一昨までは組織拡大なんか考えていなかった事。動きのいい人、フットワークのいい人がきっかけを作って、分会の雰囲気を作ってくれた事。昨年一月西国分寺駅連合分会で国労加入の小林さんと、もともと交流があった事から、武蔵小金井でも『やろう、できる』となった」などの取



り組みの報告がされた。続いて武蔵小金井で加入した岡本さんと中嶋さんから自己紹介がされた。熊田組織部長から提起があり、その後七班に分かれて分散交流会が行われ、さらに突っ込んだ話がされた。

二日目は東日本本部高野委員長の情勢報告で始まり、特別報告として地本宮崎組織部長から東京地本の取り組みが、今月加入があった甲府支部からの報告が塚田組織部長からされた。昨日の分散会報告がされ、最後に地本松川書記長から「人間関係も労働条件の一部。他労組の人から国労っていいな、と

政治解決求め 二・一六集会

「四者・四団体」は「JR不採用問題解決へ！二・一六集会」を二月一六日、都内日比谷野外音楽堂で開催した。

「四者・四団体」は「JR不採用問題解決へ！二・一六集会」を二月一六日、都内日比谷野外音楽堂で開催した。与党三党を軸とする政治解決への正念場を迎える中で、大きく世論を盛り上げ納得できる「雇用・年金・解決金」を勝ち取るため、東京地本および各地区本部・支部も最大限の取り組みを行ってきた。その結果、小雪の降る悪天候の中であったが、四千名にのぼる組合員や共闘の仲間が集結し大成功のうちに集会は終了した。

お知らせ

国労東京 法律相談

3/10 4/14 5/12

申し込みは 地本へ

相談費用 ~初回は無料



思える分会をつくろう」、さらに東日本本部から「どこで拡大の芽がでるか分からない。できる事は全てやりきる態勢を」などの意見をいただき、横森書記長のまとめで交流会を終了した。

東京家族会 第55回定期総会を開催

を開催



国労家族会東京地方連合会は、第五五回定期総会を東京地本会議室において開催した。青柳会長の挨拶のあと、石上地本委員長よりJR職場の現状と「安全・安定輸送」に向けたJR社員の働きざまや、JR不採用問題の年度末に向けての解決へ最終局面になってきていることなど、「雇用・年金・解決金」を勝ち取り一日も早い解決に全力を挙げる為に家族会と共に闘う熱い決意が語られた。地本の青年部長や婦人部長からもメッセージをいただき全体で確認した。総会の討論は、宿舍の統廃合問題、団塊の世代の退職に伴い会員の減少等切羽詰まった問題がそれぞれ報告された。改めて、組合員・青年部・婦人部と強い連携を深め、会員拡大に向けて努力をすることを確認した。

最後に青柳会長の「団結ガンパロー三唱」で、つつがなく総会を終了した。



「がん」の生涯保障 (アフラックのがん保険 F(フォルテ))

初めに診断確定されたとき	がんの場合 一時金40万円 上皮内新生物の場合 一時金4万円
がんを診断確定されたあと生存しているとき	がん診断後、2年目から5年目まで 1年につき 年金20万円×4年間 *生存している場合
入院したとき	入院給付金 10,000円
手術したとき	手術給付金 20万円
5日以上の継続入院後通院したとき	通院給付金 1日につき 10,000円
特定のがん治療で通院したとき	1日につき 10,000円
特定治療通院給付金 (上皮内新生物は対象外)	1日につき 10,000円
先進医療をうけたとき	技術料1回につき(1年間に5回まで、通算支払限度額700万円まで) 下記①~④以外の先進医療 実費/上限50万円
がん先進医療一時金	特定 ①: 固形がんに対する重粒子線治療 実費/上限290万円 ②: 脊髄腫瘍に対する腫瘍脊髄骨全摘術 (*2) 実費/上限210万円 (*1) (2) 悪性腫瘍に対する重粒子線治療 (*1) 実費/上限290万円 (3) 34陽性造血幹細胞移植 (*3) 実費/上限130万円
先進医療をうけたとき	1回につき 15万円 (1年間に1回まで)
がんで死亡したとき	死亡保険金 10万円
がん以外の病気によるものに限る。 (*1) 原発性骨髄腫または転移性骨髄腫に係るものに限る。 (*2) HLA適合ドナーがいなくても造血幹細胞移植が受けられない小児のがんに係るものに限る。 先進医療の給付金・一時金はご契約には、限度があります。 その他、アフラックの基準により限度額を定めています。	
プレミアムサポート	訪問面談サポートと専門医紹介 (このサービスは、株式会社「法研」が提供するサービスです。)

◆月払保険料(団体取扱) 保険料払込期間: 終身 がん保険フォルテ: バリュープランS 2倍 入院日額1万円

3,038円	4,222円	5,810円	7,952円
--------	--------	--------	--------

(2008年4月1日現在) *ご健康状態などによっては、お申し込みをお引受けできない場合があります。詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。

〈引受保険会社〉 Afriac 系列法人第五支社

〈募集代理店〉 アベニール 株式会社

電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822

〈取りまとめ先〉 (財) 国鉄労働会館東京地方部

UR電話 054-2548 ファックス 03-3806-9275 電話 03-3806-9264